

■活動日時：2013年2月23日（土） 10:00～15:30

■参加者：社友神於山グリーンサポーター 6名

■活動内容：沢筋のモミジの生育を妨げてきたハゼの木の除伐と、フクロウの巣箱架け。

- ・沢筋のモミジは毎年紅葉して綺麗ですが、反対側の斜面のハゼの木が日照の妨げになっていました。
- ・地上近くから左・下・右上と3方向に枝分かれしてモミジの真上に被さっている為、普通に伐るとモミジを押し潰してしまうことや、急斜面で足場が悪いこと等から手が出ませんでした。伐るならカブレの元の樹液の動きが活発でない今しか無い事から今回思い切って除伐しました。
- ・ロープで倒す方向を横方向にコントロールした結果、残念ながらモミジの枝2本が巻き添えになりましたが、最少の犠牲で伐り倒すことができました。課題が片付きほっと一息です。
- ・フクロウの巣箱は、新しい巣箱を作ることは出来ませんでした。9日のSGC活動で作って置いていた巣箱を9日に選んだ木の一つに架けました。
- ・今回は6名とコンパクトな参加になりましたが、予定したメニューはほぼこなすことができました。活動に参加頂いた6名のサポーターの皆さん、お疲れ様でした。

## ハゼの木の除伐

モミジの日照確保の為、ハゼの木を除伐。枝の処理に午前中一杯かかりました。

Before



After : スッキリしました。



モミジの枝がハゼを避けて曲がって伸びています。

- ・3本の枝の内1本は斜面に向かって左（写真奥）に、1本は下に、最後の一本は右上（写真手前上）に張り出しています。
- ・そこで先ず左に伸びている枝（★印）を伐り落とし、残りをロープで右（写真手前）にコントロールしながら伐り倒す事にし、作業を開始しました。
- ・上の写真を見れば、万事順調に進んだようですが、先に切り落とした左の枝が、太さ2cm足らずのツタで宙づりになるというアクシデントが有りました。
- ・どうしようもないのでそのまま右上に伸びた枝にロープを掛け、コントロールしながら伐った結果、モミジの枝を2本巻き込んでしまいましたが無事伐り倒しに成功しました。
- ・下の写真は、伐り倒した時の様子で、3本の太い枝が沢筋の道を完全に塞いでいます。

太い枝。乾かして薪にする為現場に積んでいます。



基地に運んだ小枝。焚火の火付け木にします。







絶好のロケーションで、自然に馴染んでいます。

- フクロウの巣箱架けにはギリギリのタイミングですが、とにかく架け終わりました。
- この後、雛が巣立つ5月ごろまで、観察が必要です。
- 架設しながら次回の巣箱作りで改善しないといけないと感じた点は次の2点です。
  1. 所定の場所へ、巣箱を引き上げる仕組みを考えないといけない。
  2. 巣箱に、枝や幹に合わせて自在に取り付けられる仕掛けをしておかないといけない。
- また今回は時間に余裕が無かったため、匂いを嫌う猛禽類に配慮して、塗料を使わずスギの皮を貼りました。
- 来年架ける巣箱は8月ごろまでに完成し、匂いを充分抜いて自然になじませ、10月には架け終わりたいと思っています。



大車輪で活動頂いた6名の社友グリーンサポーターの皆さんです。お疲れ様でした。